

課題リスト

資料3

分類	キックオフシンポジウムにて挙げられた課題
産業	<ul style="list-style-type: none"> 産業基盤の空洞化【日野市】 街と企業のコラボによる地域活性ができないか【豊島区】
人口	<ul style="list-style-type: none"> 複雑な人口構造・人口構成(日本人口密度の高い、多国籍、単身世帯が多い)【豊島区】 人口構造が変化して、過去のノウハウが活用できない【豊島区】 県北方面では、人口減少傾向にある。高齢化が始まっている。【茨城県】 つくばを含む県南エリアは、東京を向いた生活をしている。団塊世代が多く、これから急速な高齢化も心配される。【茨城県】 つくば市に若い人が流れていってしまう。【桜川市】 少子高齢化【水戸市】 少子高齢化にあたり、人口などのデータと公共建物、社会資本の配置など計画を住民一緒に考えていくための仕組み(データ: 公共情報データ etc どんなデータが必要か??)【八王子市】
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 街がどのように変化しているか? 正しくわからない【豊島区】 県西はさいたま方面をみている。茨城県に居住していることを意識しないで生活している「茨城都民」【茨城県】 中心部の空洞化【水戸市】 商店街の活性化【水戸市】 空き地の活用ができないか(空き地が多いがコンテナルームも多い。)(八王子市) 人口減少と年齢層との施設配置(まちづくりと社会資本の関係性の検討)【八王子市】 ベッドタウン、住環境(安心、安全、住みやすさ)【】
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> 社会インフラの安全性に関する情報公開【藤沢市】
防犯	<ul style="list-style-type: none"> 子供の見守り(防犯)【水戸市】 犯罪抑止【八王子市】 まちの治安(アメリカのシティホースの例、行政へのクレームにつながる問題)【八王子市】 警察が保有するの個人情報の使われ方【八王子市】
防災	<ul style="list-style-type: none"> 地震・大規模災害による逃げ遅れ【豊島区】 ハザードマップ自体を知らない人もいる。【伊奈町】 町内レベルの細かい情報がある自治体とない自治体がある。【伊奈町】 アパート、マンションなどの集合住宅では情報がわからない事がある【伊奈町】 会社などでは避難訓練があるが、町内会での避難訓練をやっているかどうか分からない【伊奈町】 長年住んでいる人の伝承すべき事項などが若い人、新しい住民に伝わっていない【伊奈町】 PCを持っていない、独居老人などの避難をどうするか【伊奈町】 紙とネットの両方が必要、しかし行政の面でいうとコスト面で厳しい【伊奈町】 地方の小さな町だと頻りに防災無線が利用されているが、大きな都市だと防災無線がない【他の地域(伊奈町グループ)】 土砂災害に対する対策【八王子市】 災害が発生した場合に男手がない。(地域のつながりへの解決)【八王子市】 災害時の小学生の安否確認【八王子市】
交通	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の維持・発展が課題: 茨城県の人口は300万人で160万台の自動車保有状況。高齢化して、自動車が利用できない中で、公共交通をいかに存続させるかが茨城県としては死活問題【茨城県】 バス会社でアプリを作ろうとしても、費用がかかってしまうから、実現できないという話も【他の地域(茨城県グループ)】 交通事故多発箇所【藤沢市】 公共交通に関する情報【他の地域(藤沢市グループ)】 狭い道路と歩行者と自転車が不安【八王子市】
農業	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県は農業県であるが、各農家の売りたいニーズに対して、市場を提供する仕組みがない。うまくニーズを汲んであげる仕組みができれば。【茨城県】
教育	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校の情報提供レベルがバラバラ【八王子市】
観光	<ul style="list-style-type: none"> 観光(ひなまつり)を力をいれていきたい。知ってもらいたい。【桜川市】 春、夏、秋、冬 シーズを通したイベントを。【桜川市】 観光情報の発信【水戸市】

分類	キックオフシンポジウムにて挙げられた課題
行政の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・制度的に義務化されないと、よいアイデアでも実現しづらい(できて、いかない)【日野市】 ・担当業務の違いから、自治体内の組織間でもデータの提供・管理に対する意識の違いがある【日野市】 ・隣接する市町村の状況が分からない【他の地域(豊島区グループ)】 ・行政内の縦割りに影響を受けないオープンデータのための体制作り【水戸市】 ・市民、職員のデジタルデバイスへの対応【水戸市】 ・GISを取り扱う部署が少なく、GISを活用しきれしていない。各部署において用途が異なるため、統一化が難しい。【栃木県】 ・浦安市:生活支援関連の部署でArcGISなどを導入しているが、GISが一人歩きしている。長期的にどう活用できるのか見えておらず依頼された地図をつくる程度に留まっている。【他の地域(栃木県グループ)】 ・共有の取り組み【八王子市】 ・内部の管理体制が不十分【八王子市】 ・内部での意思決定(効果がみえない)【八王子市】 ・GISデータは整備されつつあるが、維持更新するためのモチベーション【】
行政の保有するデータの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・データの洗い出しから始める必要がある【豊島区】 ・行政内に何のデータがあるのか分からない。【水戸市】 ・統合型GISを導入しているが、どういう利活用がされているか把握できてない。【栃木県】
公開のニーズ把握	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が欲しいデータは?【日野市】 ・民間が欲しいデータは?【日野市】 ・何のデータに価値(地域社会に対する効果、二次利用可能なデータの定義)があるのか分からない。【水戸市】
データの内容・精度	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しいデータの形式は?【日野市】 ・公共が提供する情報は正確性が高く、民間のそれは信頼性が劣る、という固定観念がある【他の地域(藤沢市グループ)】 ・スピードと質を求めるのは困難である。どこまでサービスとして許容するのか、官民で協議していく必要がある【他の地域(藤沢市グループ)】 ・データの内容、出された経緯、利活用の方法が不明(これらが、住民に伝わっていないから利活用されない?)【八王子市】 ・品質保証(改ざんに対する脅威)【八王子市】 ・データ形式、データの作り方【八王子市】 ・自治体の提供する情報の精度、責任の範囲【他の地域(越谷市グループ)】
情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティへの配慮(オプトアウトの対応)【豊島区】 ・アクセスコントロール【八王子市】 ・セキュリティ、プライバシー(情報公開のバランス)【他の地域(藤沢市グループ)】
データ公開の手段	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達の仕方に工夫が必要(多媒体、タイミング)【豊島区】 ・ハード・ソフトの両方の対策が必要【豊島区】 ・情報を載せる共通の基盤・プラットフォームが必要【他の地域(豊島区グループ)】 ・技術と法的限界をいかに折り合いをつけるか。【八王子市】
データ公開の制度	<ul style="list-style-type: none"> ・法律に縛られた規制(情報公開)【他の地域(町田市グループ)】 ・地域によってニーズ、特性が異なる。公開水準を定めることが難しい【他の地域(藤沢市グループ)】 ・オープンデータの責任の所在、免責、更新の頻度【水戸市】 ・オープンデータの商用利用に制限をつけるのか否か(有償販売の可能性含む)【水戸市】 ・データ公開する場合の課題の洗い出しとガイドライン化【水戸市】 ・法律上の課題をどうするか(データの権利関係)【八王子市】 ・不利益をうけたときの対応【八王子市】 ・公開・非公開の基準【八王子市】 ・データの所有者(市民のもの?)【八王子市】
データへのアクセス導入	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ部署がわかりづらい【町田市】 ・役所のデータがどこにあるのかわからない【他の地域(町田市グループ)】 ・一般の方の周知・認知が大切【豊島区】 ・情報へのアクセス方法【他の地域(藤沢市グループ)】 ・情報へのアクセス方法【水戸市】 ・どこまで公開されているのかが不明【八王子市】 ・オープンデータの取り組みが見えない【八王子市】 ・自治体とのつながりが無い。【八王子市】 ・整備したデータを如何に住民に届けて効果を実感してもらうか【】 ・周知の仕方の工夫(例 みんなが関心の高い“ゴミ収集日のお知らせ”に含めてお知らせしてはどうか?)【豊島区】
データの二次利用	<ul style="list-style-type: none"> ・再利用の場合の制約の明確化、問い合わせ先が明確であればよい。【八王子市】 ・二次利用のルール(国のガイドライン)【他の地域(越谷市グループ)】
データとニーズのマッチング	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に活用されるためのデータ提供にかかるコーディネーターのような役割(人間)が必要では?【日野市】 ・公共データの見える化による新たな発見もある・組み合わせも必要【豊島区】 ・ビジネス利用可能なコンテンツ【豊島区】 ・官民コラボによる課題解決をしたい【他の地域(豊島区グループ)】 ・オープンデータに地域固有の魅力をどのように付加するか→住民意見を取り込み地域の魅力を不可する仕組み、行政内の体制の確立【水戸市】 ・行政情報と住民ニーズのマッチング、意見収集方法【】
行政業務への活用	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーに住民の声を集約・収集する仕組みがない【豊島区】 ・外部での利用だけでなく行政内部での利用も考慮【水戸市】

分類	キックオフシンポジウムにて挙げられた課題
取組みの継続	<ul style="list-style-type: none">・地域・コミュニティの巻き込み方・参加の仕方に工夫が必要【豊島区】・データを追加するための仕組み【八王子市】・NPOなどの活用などビジネスモデル確立(お金の流れを含め)【他の地域(越谷市グループ)】